

# 「若年認知症について皆さんと考えてみましょう」

今回の市民健康フォーラムのテーマは「若年認知症」。認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」と診断されます。

若年性認知症は、働き盛りの世代で発症するため、ご本人だけでなく、ご家族の生活への影響も大きくなります。

病気のために仕事に支障がでたり、仕事をやめることになって経済的に困難な状況になってしまったりと、人生設計が変わることになりかねません。

このように社会的にも大きな問題ですが、地域住民、一般企業もまだ認識が不足しているのが現状です。

平成19年、東京から1組の若年認知症家族が北竜町に転入されたことをきっかけに支援者23名で「空知ひまわり」が設立されました。しかし支援者の高齢化、コロナの影響もあり令和4年に解散しております。

砂川市立病院もの忘れ専門外来では、毎年10数名の若年認知症の診断があります。こうした現状に、本人・ご家族の集いの場をつくろうと砂川市に「空知ひまわり」を設立しました。

皆さまに、こうしたことをご理解いただくため市民健康フォーラムを開催します。

## 会場

